



お客様が生き生きと笑顔で暮らすお手伝い

～株式会社タカハシ～ 湯沢市



社長の高橋氏

湯沢市にある株式会社タカハシ（社長・高橋文柄氏）は、婦人服の小売を手掛けている。

●洋服の仕立て業から小売業へ転換

同社は、現代表の祖父・朝次郎氏が1924年に羽後町で創業した（2013年に本社を湯沢市に移転）。当時は洋服の仕立て業を営んでおり、洋裁学校を開き地域の女性たちに技術指導を行った時期もある。現代表の父である秀夫氏は小売業に進出し、紳士服、婦人服、肌着、学生服を取り扱う総合衣料店と寝装具店を開いた。1965年に株式会社化した後、1977年には「ブティック」と呼ばれる小規模な婦人服専門店の経営に転換し、県南に「アザレアグループ」を展開した。現代表の文柄氏は、2013年から事業を引き継いでいる。

2019年10月現在、従業員数は35名で、男性が9名、女性が26名と、女性が大半を占める。従業員の平均年齢は40歳を少し超えた程度で、新規高卒者やAターン人材のほか、結婚を機に本県に移住した女性が働いている。

【会社概要】

- 1 代表者名 高橋 文柄
- 2 所在地 湯沢市愛宕町4-5-56
- 3 事業内容 婦人服小売業
- 4 創業 1924年
- 5 資本金 1,000万円
- 6 従業員 35名
- 7 売上高 470百万円（2019年8月期）
- 8 TEL 0183-73-8150
- 9 FAX 0183-72-0900
- 10 URL <http://www.azaleastyle.com/>

●実店舗とオンラインショップ計10店展開

経営する婦人服専門店は、実店舗が6店、オンラインショップが4店である。売上高の内訳は、実店舗が8割を占め、オンラインショップは2割である。

実店舗は、湯沢市と横手市のほか、由利本荘市に2店舗を構え、県外では東京都、岩手県に出店している。「販売員は一人ひとりのお客様専属のスタイリストである」というモットーの下、販売員とお客様が落ち着いた空間のなかで対面し信頼関係を構築できるよう、テナント店は置かず、すべて路面店とした。

オンラインショップでは、湯沢市のクリーニング業者と連携し、衣類や靴のクリーニングやメンテナンス、オフシーズンの保管などのサービスを提供し、他社との差別化を図っている。

●自社ブランド製品の製造をスタート

消費者ニーズが多様化し、変化するスピードが加速しているため、同社は本年8月にファッション業界の第一線で活躍する人材を獲得し、自社ブランド製品の企画・製造を始めた。現在、デビューを飾る冬物を製造中で、来春に都内で展示会を開催し卸販売を開始する。国内有数のブランドと同等のデザイン性と品質を兼ね備えた商品を手頃な価格で提供することで、新規顧客の取り込みを目指す。

また、実店舗の集客力向上策として、消費者が足を運びたくなる仕掛けづくりを推進している。横手市にある店舗では、2016年から、音楽ライブ、映画上映会、大画面でスポーツ観戦するパブリック・ビューイング、フリーマーケット、アクセサリーやアロマキャンドルを作成するワークショップなどを実施している。より多くの人に楽しんでもらえるよう、今後は「衣食同源」をテーマに、ファッションとフードの融合形態に進む予定である。

●自然の力を活用した食料品加工技術を開発

高橋社長は、2016年に「株式会社ぜんたいのツナガリ」を立ち上げ、食料品の製造にも乗り出した。「農作物が本来持つ力を最大限に引き出し、心と体が慶ぶ食料品を提供したい」と考え、県内研究者や秋田県立大学など県内外の大学の教授陣と協力し研究に取り組んでいる。研究を進めるなか、2018年、酸化速度を抑制し、農作物本来の味や香り、栄養価を損なわずに加工する技術を開発した。この技術は、自然界の力を活用して負荷をかけることで酵素などを活性化し細胞を再生するもので、「慶熟^{けいじゅく}」と名付けた。これまでにプルーン、コーヒー豆、ナッツ、



由利本荘市の店舗

小豆餡の加工に成功し、本年10月から全国に向けて販売を開始した。

また、県内農家と連携し、県産オーガニック農作物を用いた加工食品の製造にも取り組んでいる。高橋社長は、「慶熟製法は、素材の糖度や旨味を引き出すことで、砂糖や塩などの調味料の使用量を大幅に減らすとともに、素材の鮮度を保持したまま無添加での長期保存を可能にした。この独自技術を活用して全国に通用する価値のある商品を製造し、人々の健康増進や地域経済に貢献したい。共感してくださる企業や個人の方と協力し合い、技術の可能性を一層追求したい」と、共同研究を行う仲間を募っている。

●今後の目標

当面の目標は、婦人服販売では自社ブランドの製造・販売を軌道に乗せること、食料品製造では慶熟加工技術の研究開発とラインナップ拡充である。「お客様が健康で生き生きと、笑顔で暮らすお手伝いをしたい」と、高橋社長はさらなる事業発展への意欲を語る。

(相沢 陽子)

高橋社長からのひと言

グループ名「アザレア（西洋ツツジ）」にちなみ、花とファッションのMIX店舗構想も進めています。